

銘柄米生産情報

会津若松市・磐梯町・猪苗代町
 JA会津よつば（あいづ地区）・福島県農業共済組合会津支所
 全国農業協同組合連合会福島県本部・福島県会津農林事務所農業振興普及部

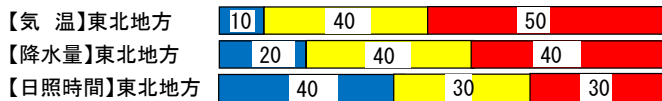
6月上旬に低温があり、一時的に生育が遅れましたが、現在は回復傾向です。病害虫は平年並みに発生しています。

熱中症に注意
 ですよ！



東北地方1か月予報 <仙台管区气象台 R4.7.7 発表>

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)



凡例: ■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い(多い)

期間: 7/9~8/8

期間のはじめは、気温がかなり高くなる見込みです。期間の前半は平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。後半は晴れの日が多いでしょう。平均気温は高い確率50%です。降水量は平年並または多い確率ともに40%です。

【幼穂形成期～出穂期の水田管理の重点ポイント】

- 1 斑点米カメムシ類防除対策（畦畔等の管理）
- 2 水稻の生育ステージに応じた水管理
 - ・ 中干しの適正実施
 - ・ 中干し後の水管理
 - ・ 出穂前後の水管理
- 3 水稻の生育状況に応じた肥培管理（穂肥）

斑点米カメムシ類防除対策

・ 畦畔の草刈りは出穂10日前までに行います。それ以降の草刈りはカメムシを本田に追い込む可能性があるため、**出穂間際～8月いっぱい**の草刈りは控えましょう。

【農薬による防除例】

- ・ 粉剤・液剤（散布剤）による防除
 - 1回目：乳熟期（出穂期の7～10日後）、2回目：その7日後に散布してください。
- ・ 粒剤による防除
 - 穂揃期～乳熟期（出穂期の5～10日後）に湛水状態で散布し、その後も発生が多い場合は、散布剤により追加防除を行いましょう。

表1 主なカメムシ防除薬剤の例

薬剤名	使用時期
キラップ粉剤DL	収穫14日前まで
スタークル粒剤	収穫7日前まで
スタークル液剤10	収穫7日前まで

- ※ 各品種の出穂期については、裏面の表2を参考としてください。
- ※ 常発地や比較的出穂の早い品種は特に注意し、計画的な防除を行いましょう。
- ※ 農薬を使用する際は、最新の登録情報を確認し、使用基準を遵守してください。
- ※ 航空防除（無人ヘリ防除）を行う場合は、必ず計画書と実績書を会津農林事務所農業振興普及部へ提出してください。

水稻の生育ステージに応じた水管理

- ・ 中干しは、出穂30日前まで（幼穂ができてはじめる頃）には終わらせましょう。
 - ・ 中干しが終わったら、間断かんがいを行いましょ。
 - ・ 穂ばらみ期から開花期は湛水管理（浅水でよい）を行いましょ。
- ※この時期に水分が不足すると、開花や受精に障害が起きやすくなります。

水稻の生育状況に応じた肥培管理（穂肥）

- ・ 穂肥は、生育状況や葉色に応じて加減してください。
- ・ 基肥一発肥料を使用している場合は、基本的に穂肥は不要です。
ただし、高温等により肥料の溶出が早まり、登熟後半の肥切れが心配される場合は、適宜追肥をしてください。
- ・ 穂肥を行う場合は、品種に合わせた時期と施用量とします。（表2参照）
高温が続く場合は、生育が早まることを考慮して時期と施用量を決定しましょ。

表2 各品種の生育ステージと穂肥の目安

地帯別	品種	出穂期 (平年値)	幼穂 形成期	穂肥時期		葉色の目安 (カースケール値)	窒素成分量 (/10a)
平坦部	ひとめぼれ	8/2	7/8	出穂20～ 25日前	7/8～13	4.0未満	1.5～2kg
	天のつぶ	8/3	7/9		7/9～14		2kg
	コシヒカリ	8/9	7/15	出穂15日前	7/25頃	3.5未満	1～2kg
山間 山沿い	あきたこまち	8/3	7/9	出穂20～ 25日前	7/9～14	4.0未満	1.5～2kg
	里山のつぶ	8/5	7/11		7/11～16		2kg
	ひとめぼれ	8/9	7/15		7/15～20		1.5～2kg
	天のつぶ	8/12	7/18		7/18～23		2kg

いもち病防除対策

- ・ いもち病に登録のある育苗箱施用剤を施用した場合でも、7月中旬頃から薬剤の効果が次第に低下します。ほ場の病害発生状況をよく確認しましょ。
- ・ 葉いもちの発生が認められた場合は、すぐに散布剤による防除を行ってください。

表3 いもち病（穂いもち）の防除薬剤（散布剤）の例

薬剤名	使用時期	使用量
オリゼメート粒剤	葉いもちには初発の10日前～初発時 穂いもちには出穂3～4週間前（但し、収穫14日前まで）	3～4kg/10a
コラトップ粒剤5	葉いもちに対しては初発の10日前～初発時 穂いもちに対しては出穂30日前～5日前まで	3～4kg/10a
フジワン粒剤	葉いもちに対しては初発7～10日前 穂いもちに対しては出穂10～30日前（但し、収穫30日前まで）	3～5kg/10a



さまざまなリスクに備え、収入保険に加入しましょ！ 青色申告を行っている農業経営者が対象です